

新年度予算は大切なものへ重点的に

持続可能な町づくりに取り組む



児玉 孝徳 議員

全国で第3波の感染者が増え、経済への影響が深刻になっている。本町の新型コロナウィルス感染症の経済への影響はどのくらいか。

廃業が3件である

町長

町内では現時点で、廃業が3件で他に業態を変更した飲食店もある。

また町独自の持続化給付金の交付状況は、1次申請分97件、2次申請分58件である。

評価された本町の支援策を今後にかかす考えは

児玉議員

本町の支援策は大いに効果があったと町内外で評価されているが、今後、移住促進のPRにつなげる考えはないか。

持続可能性を進め転入を促進する

町長

町内事業者及び地域経済への循環及び持続可能性を進め、若い人たちが転入するような施策を促進していく。

今後のイベントはどうする

児玉議員

今年度多くのイベントなどが中止や延期されたが、感染リスクがある中、今後のイベントなどはどのようにするか。

感染状況を検討し判断

町長

感染状況を検討し判断していく。開催する場合は、人数制限や三密を避けるなど、新しい生活様式を踏まえ実施する。

新年度の予算は無駄を精査し本場に大切なものに

児玉議員

新年度の予算編成は、新型コロナ感染症で消費が落ち込み、更には7月豪雨災害・サツマイ

モ基腐れ病・鳥インフルエンザなど更なる悪化が危惧されるなか、無駄を徹底して精査し、本場に大切なものに十分な予算を編成すべきではないか。

持続可能な町づくりに積極的に取り組む

町長

新年度の予算編成に当たり、定住促進事業などの持続可能な町づくりを目指した施策に積極的に取り組んでいきたい。

菱田中跡地に住民の意見を取れ入れる考えは

児玉議員

菱田小学校のコミュニティースクールで「菱田のあしたを考える会」を開催し、菱田中学校跡地の活用について協議を行った。

意見を参考に検討していく

町長

出された意見も参考にし、ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅の利用と合わせた考えで検討を進めていく。



新型コロナで中止となったふれあいフェスタ（写真は令和元年度）